

暑中御見舞
申上候

昭和十三年盛夏

工事畫報社

社長 鶴田勝三
主幹 岡崎保吉

編輯部

營業部

關西支局

工事研究會

プラクティカル・エンジニアリング發行所

編輯室より

空梅雨だと云ふ豫報に反して、今年の降雨量はどうでせう。東京浸水、東海道線不通、土浦町孤立等々。そして其水が漸く退げかけたと思つたら今度は阪神地方の水害。

×

われ等土木を技術とするものは、此惨害から人々を救ひ出さねばならぬと更めて深く考へると同時に、罹災地方の人々に對して心から御見舞を申上げます。

×

今月は青木氏に願ひて全熔接の鶴川橋工事に就てくわしい御説明を頂きました。とき宛もENR誌はベルギーに於ける熔接橋墜落の椿事を報じてゐま

す。現在ではまだ熔接後の結果を試験する方法がないさうで、専ら熔接技術者の腕と良心に俟たねばならぬ状態なのださうですから、此椿事の原因が何れに在るにせよ、之を前車の戒しめとして私共の技術を一層完璧なものにするための努力を拂ひ度いものです。

×

十年に亙る日本銀行の大増築が完成しました。豪壯なる外觀と、質實なる内容、国立中央銀行の建物として申分がありません。たゞ残念なのは完成まで僅か半歳を残して、此工事の技師長として畢生の努力を惜れなかつた長野博士が長逝された事です。本記事並に寫眞は博士の後をつがれて此工事を主管せられた尾崎久助氏の御好意で頂きました。深く感謝いたします。

×

土 木 工 事 畫 報 第十四卷 第七號		定價金七拾錢 (稅二錢)	毎月一回一日發行 二ヶ年十二冊發行
普通購讀料	昭和十三年 六月廿六日印刷納本 昭和十三年 七月 一日發行	關 西 支 局	
壹部七十錢 稅二錢 參ヶ月貳圓 稅共 六ヶ月四圓 同 一ヶ年八圓 同 外國一部 七十八錢 稅 共	編輯兼印刷發行人 岡崎保吉 東京市豊島區長崎仲町二丁目三六二九 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地	大阪市浪速區惠美須町 2丁目13 工事畫報社支局 電話或86番	
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事但し六、ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。	發行所 工事畫報社 東京市麴町區丸ノ内三丁目六 電話 九ノ内二六三三番 振替 東京七〇貳六五番	大 賣 捌 所 東京堂・東海堂 大東館・北陸館	

超高級

浅野ベロセメント

短期高強度
工事期間短縮
工事費節約



(浅野セメント香春工場)



低発熱

浅野マスコンセメント

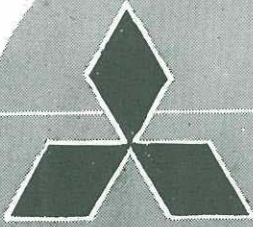
大塊コンクリート用

説明書御申込次第送呈

浅野セメント株式会社

東京丸ノ内・海上ビル新館

THE "KOJIGAHO"
 AN ILLUSTRATED CONSTRUCTION REVIEW
 VOL. 14, No. 7
 Published Monthly by the Kojo-Oaho-sha
 Tokyo Japan.



三菱 エレベータ

製作と据付

乗用エレベータ
 給仕用エレベータ



貨物用エレベータ
 電気自動階段

一手販賣店

三菱商事株式会社
 機械部 東京丸ノ内・支部 支店 出張所各地

三菱電機株式会社

本店 東京丸ノ内 製作所 神戸・名古屋・長崎

定 價 金 七 十 錢
 満 鮮 臺 定 價 七 十 七 錢

(送料 二錢)

大正十四年七月二十八日第三種郵便物認可
 昭和十三年六月六日印刷
 昭和本
 日發行(毎月一回一日發行)
 土木
 建築
 工事
 畫報
 第十四卷
 第七號